

	2007年度	2008年度	2009年度
調査対象ホール数	1万2298軒	1万1805軒	1万1579軒
有効回答ホール数	9449軒	9435軒	9666軒
総電気使用量	79億8936万3502kWh	81億2918万2930kWh	81億1204万7826kWh
CO ₂ 排出量 ※1	362万t-CO ₂	368万t-CO ₂	367万t-CO ₂
CO ₂ 排出量 ※2	471万t-CO ₂	461万t-CO ₂	447万t-CO ₂

※1 有効回答ホール数ベース
※2 調査対象ホール数への換算推計値

ホールにおけるCO₂排出量

	2007年度	2008年度	2009年度
ホール業界全体 ※調査対象ホール換算推計値	471万t-CO ₂ (1万2298軒)	461万t-CO ₂ (1万1805軒)	447万t-CO ₂ (0万0000軒)
1平方メートル当たりの 年間CO ₂ 排出量	409.0kg-CO ₂ /m ²	364.8kg-CO ₂ /m ²	372.6kg-CO ₂ /m ²
営業時間が1時間とした 場合の1平方メートル当 たりの年間CO ₂ 排出量	30.7kg-CO ₂ /m ² ・h	27.5kg-CO ₂ /m ² ・h	28.0kg-CO ₂ /m ² ・h
遊技機1台当たりの 年間CO ₂ 排出量	1032.2kg-CO ₂ /台	1064.7kg-CO ₂ /台	1054.9kg-CO ₂ /台
営業時間が1時間とした 場合の遊技機1台当 たりの年間CO ₂ 排出量	77.5kg-CO ₂ /台・h	80.2kg-CO ₂ /台・h	79.4kg-CO ₂ /台・h

「空調設備のクリーニング」が58.7%で続いた。CO₂排出抑制対策として最も多かったのは、担当者を決めて管理を行うなどの節電対策で68%。

全日本遊技事業協同組合連合会が2009年度のホールにおける電気使用量の調査結果を発表した。調査対象ホール1万1579軒のうち、有効回答ホールは9512軒。有効回答ホールの電気使用量は約8億1000万kWhで、CO₂排出量は換算電事業連合会の公表値を使用して算出した。367万t-CO₂となった。調査対象ホール数に換算すると、CO₂排出量は447万t-CO₂で前年度比3%減を達成した。

全日遊連
排出抑制「節電対策」トップ
CO₂排出量 前年度比3%減

組合加盟店舗の実態調査結果について(経過報告) 都道府県方面遊技業協同組合加盟店舗

調査月	加盟店舗数	新規加盟店舗数	廃業店舗数	遊技機台数			組合数	
				パチンコ台数	パチスロ台数	その他(台)		
2009年12月	11,672	29	36	110(19)	2,927,190	1,266,494	156	4,193,840
2010年1月	11,675	22	18	105(8)	2,935,449	1,266,083	156	4,201,688
2月	11,663	24	35	107(14)	2,936,932	1,262,269	156	4,199,357
3月	11,616	14	54	107(18)	2,935,356	1,256,127	156	4,191,639
4月	11,630	31	30	97(7)	2,945,673	1,257,110	156	4,202,939
5月	11,613	18	31	103(15)	2,944,960	1,255,851	156	4,200,967
6月	11,586	12	26	110(19)	2,942,377	1,253,175	156	4,195,708
7月	11,571	21	46	101(12)	2,940,635	1,253,832	156	4,194,623
8月	11,556	24	35	101(10)	2,941,292	1,254,681	156	4,196,129
9月	11,553	26	30	94(10)	2,938,627	1,260,324	156	4,199,107
10月	11,539	14	25	98(13)	2,932,592	1,263,043	156	4,195,791
11月	11,520	9	25	107(19)	2,929,487	1,264,160	156	4,193,803
12月	11,522	34	43	86(10)	2,926,898	1,276,552	156	4,203,606

11/30既報時、遊技機台数は、全国平均の約6割。②中野区はパチンコ、パチスロ、スロット44店舗あり。③2011年1月24日現在の値

全日遊連
年間では150軒減少
12月は店舗数微増に

2010年12月末時点の全日遊連の加盟店舗店舗数は1万1579軒で前月比2軒増加12月は新規出店が34軒と10年1月以降でもっとも多かったが、廃業店舗数も43店舗あったためわずかに2軒の増加にとどまった。10年の1年間では150軒の減少。過去に遡ると09年は292軒、08年は300軒、07年は338軒の減少。減少幅は年々小さくなってきている。パチンコ設置台数は292万台68898台で前月比約2500台減少。パチスロは127万台6652台で前月比約1万7000台増加。パチンコは6カ月連続で減少。パチスロは6カ月連続で増加となった。10年1年間ではパチンコは85.1万台減少。パチスロは1万469台増加した。

パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会
14団体が連携強化を確認



業界14団体の共催による「パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会」が25日、都内のホテルで行われた。来賓として招かれた警察庁生活安全局保安課の加藤建也課長は祝辞のなかで、「パチンコ・パチスロの普及や低射率性遊技機の開発など、手懸に遊べる環境作りについて評価したうえで、「本年も健全化に向けた取り組みを継続発展させていきたい」との要望。また、14団体によるリカバリ・サポート・ネットワークの支援や、ネットワークの活動に努め、スロ撲滅への活動に努め、なり、立場が異なる各業界団体がひとつにまとまる機会を設け、解決に向けて努力されることを期待します」と述べた。

同会へ来賓として、あざつと述べたりリカバリ・サポート・ネットワークの西村直之代表は14団体からの支援が決まったことについて「このほか、賀詞交歓会では全日遊連日遊遊同友会、余暇遊P C S Aのホール5団体「風営法検討会」を設置したことが報告された。すでに第1回目に17日に開催さ



「皆さんのご支援をいただき、さらに活動を広げていくことができると感謝の意を述べるとともに「娯楽の楽しみの部分はプロである皆さんの力で広めていただき、リスクの部分は私たちが精一杯取り組み、何が必要かを発信していきたい」と抱負を語った。リカバリ・サポート・ネットワークは2006年に立ち上がったパチンコ依存問題相談機関。これまでは全日遊連の支援によって運営してきた。

このほか、賀詞交歓会では全日遊連日遊遊同友会、余暇遊P C S Aのホール5団体「風営法検討会」を設置したことが報告された。すでに第1回目に17日に開催さ

高野法検討会の発足を報告したパチスロ5団体の代表者が握手を交わす

警察庁保安課の加藤建也課長

リカバリ・サポート・ネットワークの西村直之代表